

平成28年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	河川・水路整備事業	会計	款	項	目	多額 経費
		一般	8	3	3	○
政策	22快適な暮らしの環境をつくれます	担当課室	道路河川整備課			
施策	223うるおいある河川・水路の整備	担当課室長	鎗田 淳			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	整備時期は未定であるが、整備の目安が ついた段階で、整備方針等の検討を行う。	③平成28年度 に取組む 改革・改善 内容	整備時期は未定であるが、整備の 目安がついた段階で、整備方針等 の検討を行う。
②①に基づく 取組み 結果	整備の目安がついていないため、整備方 針等の検討は行えなかった。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	①主要な水路 ②その他の水路	意図(対象をどう するのか)	浸水被害の軽減 隣接家屋等の安全性確保
②事務事業の概要	下流の状況を考慮し、水路の流下能力の向上等を目的とした暫定改修を行う。			
③環境分析(事業開始 からの状況変化や今後の 見込み・市民意向など)	急激な都市化の進展により、雨水の流出量が増加し、河川の施設能力を超えるようになった。今後下流の整備が進むと、市域の河川施設について将来形での整備が可能となる。依然として浸水被害はあり、苦情や要望が多い。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成27年度の事業の成果	・紙敷川改修事業として、L=144.1mの河川整備を松戸市主体により実施した。						
②成果 を表す 指標	指標名称		平成25 年度	平成26 年度	平成27 年度	単位	算定根拠
	i	主要な水路の暫定改修実施率	6.50	6.50	6.50	%	業務取得
	ii	主要な水路の50mm/hr改修実施率	2.60	2.60	2.60	%	業務取得
	iii	浸水面積(河川水路)	31.9	31.9	31.9	ha	業務取得
③事務事業のコスト	平成26年度決算	平成27年度決算	平成27年度決算(事業費)の主な内訳			平成28年度予算	
事業費(千円)	3,892	6,270	金額(千円)		内容	3,596	
	国支出金(千円)		5,428		紙敷川改修事業負担金		
	県支出金(千円)		842		金山落水路用地測量委託		
	市債その他(千円)						
	一般財源(千円)	3,892	6,270			3,596	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する 現状など)	下流が未整備のため、50mm/hrの降雨に対応した計画的な整備に取り組めない。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	治水対策として有効な事業であることから、費用対効果を考慮した暫定改修については実施する必要がある。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成27年度の計画	・紙敷川改修負担金 ・金山落水路用地	平成27年度事業費の状況(単位:千円)						
		計画事業費	予算額		決算額			
②計画に対する事業実績	・紙敷川改修負担金支払済	9,910	9,910	当初	9,910	6,270	H26からの 繰越	0
				H26⇒27繰越	0			
③達成状況	未完了			補正	0		現年分	6,270
④未完了・非着手の理由	金山落水路は、境界査定が不調となった ため、用地購入が出来なかった。			流用・充当	0			
				平成28年度への繰越額(単位:千円)		0		

平成28年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	準用河川整備事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	8	3	3	○
政策	22快適な暮らしの環境をつくれます	担当課室	道路河川整備課			
施策	223うるおいある河川・水路の整備	担当課室長	鎗田 淳			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	浸水被害の軽減のため、整備は現時点で可能な最も効果のある箇所を選定を行う。	③平成28年度に取り組む改革・改善内容	浸水被害の軽減のため、整備は現時点で可能な最も効果のある箇所を選定を行う。
②①に基づく取り組み結果	浸水被害の軽減を図るため、道路冠水や浸水被害等のデータを基に予算の範囲内で整備可能かつ効果のある箇所について選定した。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	準用河川	意図(対象をどうするのか)	浸水被害の軽減 隣接家屋等の安全性確保
②事務事業の概要	①計画の策定を行い、上下流の状況を考慮し段階的な河川の改修を行う。 ◆下流の流下能力のあるところについては、50mm/hrに対応した整備を行う。 ◆流下能力が無いところは、流下能力の向上に努める。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	急激な都市化の進展により、雨水の流出量が増加し、河川の施設能力を超えるようになった。今後下流の整備が進むと、市域の河川施設の将来形での整備が可能となる。依然として浸水被害はあり、苦情や要望が多い。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成27年度の事業の成果	・二和川護岸改修第29期工事L=130.5mを完了した。						
②成果を表す指標	指標名称		平成25年度	平成26年度	平成27年度	単位	算定根拠
	i	暫定改修実施率	18.61	19.73	21.08	%	業務取得
	ii	50mm/hr改修実施率	11.42	11.42	11.42	%	業務取得
	iii	浸水面積(1級河川、準用河川)	81.5	81.5	81.5	ha	業務取得
③事務事業のコスト	平成25年度決算	平成27年度決算	平成27年度決算(事業費)の主な内訳		平成28年度予算		
事業費(千円)	31,059	104,223	金額(千円)		内容		
国支出金(千円)			35,646		二和川護岸改修第29期工事		
県支出金(千円)			20,520		二和川河川改修予備設計委託		
市債その他(千円)			8,935		二和川護岸改修詳細設計委託		
一般財源(千円)	31,059	104,223	3,034		中沢川護岸改修に伴う詳細設計委託		

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	河川改修は下流から行うのが原則であるため、整備は現時点で可能な最も効果のある箇所を選定し、将来の整備に後戻り無い整備しか実施することができない。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	7拡充
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	下流域の整備が進んできたことにより、上流側でも将来形の整備を行っていく。また、将来形を見据えた暫定的な整備を行うしかない箇所では、将来の整備に後戻りの無いよう効果的な手法の検討を行う。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成27年度の計画	二和川護岸改修、二和川整備、二和川バイパス、中沢川下ノ坪改修工事	平成27年度事業費の状況(単位:千円)						
		計画事業費	予算額		決算額			
②計画に対する事業実績	二和川護岸改修第28期工事を完了した。	118,031	188,815	当初	77,470	104,223	H26からの繰越	65,157
				H26⇒27繰越	70,784		現年分	
③達成状況	未完了			補正	40,561			
④未完了・非着手の理由	中沢川護岸改修工事は、H28へ繰り越したため。			流用・充当	0			
				平成28年度への繰越額(単位:千円)	70,242			

平成28年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	地域排水整備事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	8	3	3	○
政策	22快適な暮らしの環境をつくれます	担当課室	道路河川整備課			
施策	223うるおいある河川・水路の整備	担当課室長	倉田 淳			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	浸水被害の軽減のため、整備は現時点で可能な最も効果のある箇所の選定を行う。	③平成28年度に取組む改革・改善内容	浸水被害の軽減のため、整備は現時点で可能な最も効果のある箇所の選定を行う。
②①に基づく取組み結果	浸水被害の軽減を図るため、道路冠水や浸水被害等のデータを基に整備可能かつ効果のある箇所について選定した。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	地域排水施設	意図(対象をどうするのか)	浸水被害の軽減
②事務事業の概要	浸水被害の直接的な原因が地域排水施設の能力不足や未整備であるものについて、下流への影響を考慮しつつ、河川・水路までの施設整備を行う。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	急激な都市化の進展により、雨水の流出量が増加し、河川の施設能力を超えるようになった。今後下流の整備が進むと、市域の河川施設の将来形での整備が可能となる。依然として浸水被害はあり、苦情や要望が多い。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成27年度の事業の成果	・道野辺中央五丁目地区排水整備設計委託を行い、能力不足箇所を検証した。					
②成果を表す指標	指標名称	平成25年度	平成26年度	平成27年度	単位	算定根拠
	i 整備工事完了・着手箇所数	18	20	21	箇所	業務取得
	ii 浸水面積(地域排水)	11.2	11.1	10.1	ha	業務取得
	iii 浸透柵設置基数	6,411	6,587	6,679	基	業務取得
③事務事業のコスト	平成26年度決算	平成27年度決算	平成27年度決算(事業費)の主な内訳		平成28年度予算	
事業費(千円)	35,509	30,591	金額(千円)	内容	84,192	
	国支出金(千円)		5,508	道野辺中央5丁目排水基本設計委託		
	県支出金(千円)		3,745	道野辺中央5丁目排水実施設計委託		
	市債その他(千円)	10,500	0	996	浸透柵モニター	46,800
	一般財源(千円)	25,009	30,591	1,354	鎌ヶ谷二丁目排水整備家屋事前調査委託	37,392

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	浸水被害の軽減を図るため、道路冠水や浸水被害等のデータを基に整備可能かつ効果のある場所を選定しなければならない。				
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い	
③上記評価の理由	治水対策として有効な事業であることから、費用対効果を考慮し事業を進める必要がある。				

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成27年度の計画	鎌ヶ谷二丁目地区排水整備工事、道野辺中央五丁目地区排水整備設計、浸透柵モニター	平成27年度事業費の状況(単位:千円)						
		計画事業費	予算額		決算額			
②計画に対する事業実績	浸透柵モニター、道野辺中央5丁目地区地域排水実施設計委託を完了した。	51,557	60,064	当初	51,557	30,591	H26からの繰越	5,508
				H26⇒27繰越	5,508			
③達成状況	未完了			補正	0		現年分	25,083
④未完了・非着手の理由	鎌ヶ谷二丁目地区地域排水整備工事は、2回の入札不調によりH28に繰越したため。			流用・充当	2,999			
		平成28年度への繰越額(単位:千円)		26,999				

平成28年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	雨水貯留池整備事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	8	3	3	○
政策	22快適な暮らしの環境をつくれます	担当課室	道路河川整備課			
施策	223うるおいある河川・水路の整備	担当課室長	倉田 淳			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	浸水被害の軽減のため、整備は現時点で可能な最も効果のある箇所の選定を行う。	③平成28年度に取り組む改革・改善内容	浸水被害の軽減のため、整備は現時点で可能な最も効果のある箇所の選定を行う。
②①に基づく取り組み結果	浸水被害の軽減を図るため、道路冠水や浸水被害等のデータを基に整備可能かつ効果のある箇所について選定した。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	雨水貯留池	意図(対象をどうするのか)	河川の流量の調整を行う。 雨水の流出を抑制する。
②事務事業の概要	浸水被害の軽減に必要な河川調節池の整備と流出抑制を目的とした貯留池の整備を行う。整備にあたっては、河川の整備計画との整合を図る。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	急激な都市化の進展により、雨水の流出量が増加し、河川の施設能力を超えるようになった。今後下流の整備が進むと、市域の河川施設の将来形での整備が可能となる。依然として浸水被害はあり、苦情や要望が多い。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成27年度の事業の成果	・南初富2丁目貯留池整備事業に伴う用地測量・詳細設計を実施した。						
②成果を表す指標	指標名称		平成25年度	平成26年度	平成27年度	単位	算定根拠
	i	河川調節池の暫定整備率	85.71	85.71	85.71	%	業務取得
	ii	河川調節池の整備率	57.14	57.14	57.14	%	業務取得
	iii	貯留量	37,480	40,421	40,421	m3	業務取得
③事務事業のコスト	平成26年度決算	平成27年度決算	平成27年度決算(事業費)の主な内訳			平成28年度予算	
事業費(千円)	235,952	23,210	金額(千円)	内容		6,558	
国支出金(千円)	45,480	0	17,849	南初富2丁目貯留池設計委託			
県支出金(千円)		0	2,594	南初富2丁目貯留池測量委託			
市債その他(千円)	134,200	0	1,396	南初富5丁目家屋事後調査委託			
一般財源(千円)	56,272	23,210	1,072	串崎新田貯留池用地借地料		6,558	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	浸水被害の軽減を図るため、道路冠水や浸水被害等のデータを基に整備可能かつ効果のある場所を選定しなければならない。				
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価 6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い	
③上記評価の理由	後期基本計画で掲げている平成32年度の目標値を達成している。また、浸水被害の軽減を図るには、下流の整備が進んでいない現状では、貯留池を整備することが最善の治水対策と考えられる。				

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成27年度の計画	南初富五丁目貯留池(事後調査)、南初富二丁目貯留池(測量・設計)、串崎新田貯留池(用地借地)	平成27年度事業費の状況(単位:千円)						
		計画事業費	予算額		決算額			
②計画に対する事業実績	南初富五丁目貯留池(事後調査)、南初富二丁目貯留池(測量・設計)、串崎新田貯留池(用地借地)を完了した。	39,032	36,033	当初	39,032	23,210	H26からの繰越	0
				H26⇒27繰越	0		現年分	23,210
③達成状況	完了			補正	0			
④未完了・非着手の理由				流用・充当	-2,999			
		平成28年度への繰越額(単位:千円) 0						

平成28年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	流域環境整備事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	8	3	2	○
政策	22快適な暮らしの環境をつくれます	担当課室	道路河川管理課			
施策	223うるおいある河川・水路の整備	担当課室長	若泉哲也			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	河川施設の点検方法等について検討を行う。	③平成28年度に取り組む改革・改善内容	河川施設の点検方法等について、国の基準を参考に、市の点検方法について制定を行う。
②①に基づく取り組み結果	国の点検方法について調査をし、市の点検方法を定める準備を行った。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	河川、水路、調整池	意図(対象をどうするのか)	施設の機能維持
②事務事業の概要	河川、水路、調整池の適正な管理を行うため、除草・清掃やパトロールの委託を行うとともに、必要な補修工事を行う。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	施設の老朽化が進んでおり、大規模な修繕とともに、長寿命化のための対策が見込まれる。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成27年度の事業の成果	○河川管理委託 ○河川・水路清掃委託 ○スクリーン清掃委託 ○河川・水路維持工事						
②成果を表す指標	指標名称		平成25年度	平成26年度	平成27年度	単位	算定根拠
	i	河川・水路に対する満足度	13.8	-	-	%	市民意識調査
	ii	河川・水路除草面積	50,164	58,310	58,610	m ²	業務取得
	iii						
③事務事業のコスト	平成26年度決算	平成27年度決算	平成27年度決算(事業費)の主な内訳			平成28年度予算	
事業費(千円)	70,247	29,333	金額(千円)		内容	27,750	
国支出金(千円)	0	0	16,995		河川管理委託他	0	
県支出金(千円)	0	0	12,318		フェンス設置工事他	0	
市債その他(千円)	0	0				0	
一般財源(千円)	70,247	29,333				27,750	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	施設の老朽化に伴う大規模な修繕や長持ちさせるための対策。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	法定管理者の責務として機能維持に努めることが必要のため					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成27年度の計画	河川・水路の維持工事	平成27年度事業費の状況(単位:千円)						
		計画事業費	予算額		決算額			
②計画に対する事業実績	河川・水路の維持工事	29,424	29,424	当初	27,750	29,333	H26からの繰越	0
				H26⇒27繰越	0		現年分	29,333
③達成状況	完了			補正	0			
④未完了・非着手の理由				流用・充当	1,674			
		平成28年度への繰越額(単位:千円)						0